

Administration Services Readmeリリース11.1.2.4.000

リリース 11.1.2.4.000

製作著作 © 2015

目次

目的	1
このリリースでの新機能	1
インストール情報	1
サポートされているプラットフォーム	2
サポートされている言語	2
サポートされているこのリリースへのパス	2
JRE 6上でのJavaFXランタイムのインストール	3
このリリースで修正された問題	4
既知の問題	5
ドキュメントの更新事項	5
ドキュメント・フィードバック	6
アクセシビリティの考慮事項	7

目的

このドキュメントには、このリリースのOracle Essbase Administration Servicesに関する重要な最新情報が記載されています。Oracle Enterprise Performance Management Systemをインストールする前に、このReadmeを十分に確認してください。

このリリースでの新機能

このリリースでのインストール、アーキテクチャおよびデプロイメントの変更に関係のある新機能については、*Oracle Enterprise Performance Management System Readme*のこのリリースでの新機能に関する項を参照してください。

インストール情報

EPM System製品のインストールに関する最新情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System* インストールおよび構成Readmeを参照してください。EPM System製品をインストールする前に、この情報をよく確認してください。

Oracle Smart View for Officeは、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System Installerでインストールされなくなりました。Oracle Smart View for Officeの最新リリースをダウンロードおよびインストールするには、<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/smart-view-for-office/overview/index.html>に移動してください。

サポートされているプラットフォーム

EPM System製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、Oracle Technology Network (OTN)のOracle Fusion Middleware Supported System Configurationsページに掲載されています。

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされている言語

EPM System製品のサポートされている言語に関する情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスの「Translation Support」タブでスプレッドシート形式で提供されています。このマトリックスは、OTNのOracle Fusion Middleware Supported System Configurationsページに掲載されています。

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM Systemは、次のリリースからリリース11.1.2.4にアップグレードできます：

注意：アップグレードの手順は、*Oracle Enterprise Performance Management System*インストールおよび構成ガイドのEPM System製品のアップグレードに関する項を参照してください。

表1 サポートされているこのリリースへのパス

アップグレード・パスのリリース: 元...	リリース11.1.2.4へ
11.1.2.x	メンテナンス・リリースを適用して、リリース 11.1.2.4 に移行します。 注： Oracle Hyperion Financial Close Managementでは、メンテナンス・リリースの適用がサポートされるのは、リリース 11.1.2.2 または 11.1.2.3 からのみです。 Oracle Hyperion Financial Managementでは、メンテナンス・リリースの適用がサポートされるのは、リリース 11.1.2.1

アップグレード・パスのリリース: 元...	リリース11.1.2.4へ
	、 11.1.2.2 または 11.1.2.3 からのみです。
11.1.1.4.x	リリース 11.1.2.3 へアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.4 に移行します。
リリース 11.1.1.0.x	メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.1.4
から 11.1.1.3.x	に移行し、リリース 11.1.2.3 にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.4 に移行します。



注意

Oracle Essbaseのポートフォリオ製品(Essbase、Administration Services、Oracle Hyperion Provider ServicesおよびOracle Essbase Studio)、およびコンポーネント(サーバー、クライアント、ランタイム・クライアント、APIおよびJAPI)のすべてに同一バージョンを使用することをお勧めします。

JRE 6上でのJavaFXランタイムのインストール

JRE 6を使用している場合、Webブラウザから管理サービス・コンソールを起動する際にJDK6ランタイム用のJavaFX 2.2.5ランタイムをインストールする必要があり、インストールしないと機能しないポップアップが表示されてAdministration Servicesが起動しません。



注:

JDK6用のJavaFX 2.2.5ランタイムをOracleからダウンロードできません。

このリリースで修正された問題

このセクションには、リリース11.1.2.4.000で修正された問題が含まれています。以前のリリースで修正された問題のリストを確認するには、Defects Fixed Finderを使用します。このツールでは、所有する製品および現在の実装のリリースを確認できます。1回のクリックで、修正された問題の説明とそれに関連するプラットフォームおよびパッチ番号を含むカスタマイズされたレポートが、ツールによってすばやく生成されます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 19644730 -- ユーザー上で右クリックして「使用不可にする」または「使用可能にする」を選択すると、選択したユーザーのグループが削除されます。
- 19008993 -- デイメンション構築は、Administration Servicesコンソールを使用してファイルシステムに保存されたルール・ファイルで失敗します。
- 18840727 -- ユーザー表を開いて「ユーザー・タイプ」でソートした場合、ユーザーを選択してから「編集」を選択すると、異なる名前が「ユーザー名」フィールドに表示されます。
- 6574337 -- @ISATTRIBUTEおよび@ISMBRWITHATTR calc関数がAdministration Services計算スクリプト・エディタにありません。
- 18291424 -- @IRREX calc関数がAdministration Services計算スクリプト・エディタにありません。
- 18401936 -- 「メンバーのプロパティ」ダイアログ・ボックスの「属性」ウィンドウには、すべての関連付けられた属性デिमensionは表示されません。
- 18424372 -- 計算スクリプト・エディタの空のアウトラインを選択すると、不正なエラー・メッセージが戻されます。戻されたメッセージは、「サーバー・アプリケーションをアクティブに設定する際にエラーが発生しました」です。かわりに、アウトラインが空であるということを示す必要があります。
- 18491498 -- 「関連付け」タブの「メンバー・プロパティの編集」ダイアログ・ボックスで、「範囲の追加」を選択すると、空のツリー構造が戻されます。
- 18808398 -- 「ユーザーの編集」プロパティを選択し、「ユーザー・タイプ」を選択してから管理ユーザー以外のユーザー上で右クリックすると、管理ユーザーの情報が表示されます。
- 19774932 -- Administration Servicesコンソール11.1.2.3.500で作成されたデータ・ロードのルール・ファイルは、MAXLで使用できません。
- 20124033 -- 英語以外のAdministration Servicesコンソールを使用した場合、コンソールは エディタ設定ダイアログ・ボックスへのアクセス時に無応答になる可能性があります。
- 19298249 -- コマンドMEANINGLESSTEXTが「レポート・スクリプト・エディタ」にありません。
- 19298217 -- コマンドOUTMEANINGLESSが「レポート・スクリプト・エディタ」にありません。
- 18760380 -- 「属性ビューア」の有効な属性の検索で結果が戻されません。
- 18759880 -- アプリケーション・リストはロケーション別名エディタに表示されない場合があります。
- 18758690 -- バージョン11.1.2.3.500 Administration Servicesコンソールからバージョン11.1.2.1 Essbaseサーバーへの追加が失敗し、次のエラーが戻されます: セッションがEssbaseエージェント/サーバーに接続していません。
- 18676335 -- 管理サービス・コンソールに400人のユーザーを表示すると、予想より時間がかかる場合があります。
- 18546568 -- Administration Servicesのデータ・ロード中に、ルール・ファイルまたはデータ・ファイルを選択すると、データは「最終更新」でソートできません。
- 18538795 -- **Administrative Services Web**コンソールで、ファイル・システムからのデータのロードが失敗し、次のエラーが戻されます: エラー・ファイルを書き込むクライアント・ディレクトリの作成に失敗しました。
- 18363474 -- 「アウトライン・エディタ」で、アウトラインをEssbaseサーバーに保存してから「プロパティ」タブを選択すると、コンテンツは表示されません。
- 18318809 -- EssbaseがBISHIPHOMEにインストールされると、Administration Servicesコンソールのサーバー・プロパティの編集ダイアログで「Shared Servicesセキュリティ・モード」オプションが選択されます。
- 18079367 -- 一部のMDX問合せでは、結果が表示される前の出力ウィンドウに過剰なスペースがあります。これは、問合せにより結果が戻されなかったという印象を与える可能性があります。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

16670757、16628180 -- 英語以外のLinuxプラットフォームで実行されるEssbaseサーバーへの接続あるいはEssbaseの迅速インストールを使用した英語以外のWindowsサーバーへの接続にEASコンソールを使用している場合、エラーメッセージが文字化けすることがあります。

回避策: 元のローカライズ版essbase.mdbファイルを英語版essbase.mdbファイルと置換し、Administration Servicesコンソールで英語のエラーメッセージを取得します:

- **Linux 32ビット**・インストール: EPM_SYSTEM_HOME/common/EssbaseRTC/11.1.2.0/bin/essbase.mdbをEPM_SYSTEM_HOME/common/EssbaseRTC/11.1.2.0/localized/en/bin/essbase.mdbと置換します
- **Linux 64ビット**・インストール: EPM_SYSTEM_HOME/common/EssbaseRTC-64/11.1.2.0/bin/essbase.mdbをEPM_SYSTEM_HOME/common/EssbaseRTC-64/11.1.2.0/localized/en/bin/essbase.mdbと置換します
- **Windows 32ビット**・インストール: EPM_SYSTEM_HOME\common\EssbaseRTC\11.1.2.0\bin\essbase.mdbをEPM_SYSTEM_HOME\common\EssbaseRTC\11.1.2.0\localized\en\bin\essbase.mdbと置換します
- **Windows 64ビット**・インストール: EPM_SYSTEM_HOME\common\EssbaseRTC-64\11.1.2.0\bin\essbase.mdbをEPM_SYSTEM_HOME\common\EssbaseRTC-64\11.1.2.0\localized\en\bin\essbase.mdbと置換します

ドキュメントの更新事項

サブトピック

- [EPM System製品ドキュメントへのアクセス](#)
- [PDFからのコード・スニペットのコピーと貼付け](#)
- [サーバー切断時に使用不可であるログ・オプション](#)
- [クラスタのデータ・プレビューに必要なProvider Services](#)
- [ブール値属性ディメンション](#)
- [データベース・プロパティ・ウィンドウ - 「変更」 タブ](#)
- [SQLデータのファイル区切りは無視されます](#)

EPM System製品ドキュメントへのアクセス

Oracle Help Center (<https://docs.oracle.com/en/>)で最新のEPM System製品ガイドを検索してください。ドキュメントにアクセスして表示またはダウンロードするには、「Applications」アイコンをクリックします。「Applications Documentation」ウィンドウのEPMタブを選択し、Enterprise Performance Managementのリンクをクリックします。

Oracle Technology Network (<http://www.oracle.com/technetwork/index.html>)およびOracle Software Delivery Cloud Webサイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)で、デプロイメント関連のドキュメントを検索することもできます。または、EPM System Documentation Portal (<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)を参照してください。My Oracle Support、EPM Supported Platform Matricesなどへのリンクがあります。

PDFからのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDFファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットをHTMLバージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

サーバー切断時に使用不可であるログ・オプション

Essbaseサーバーが切断されている場合、Essbaseサーバーのログを作成、編集、表示および生成するオプションはグレー表示されます。

クラスタのデータ・プレビューに必要なProvider Services

クラスタ名を使用してOracle Essbaseサーバーを追加後、そのサーバー上のデータベースのデータ・プレビューを実行するために、Oracle Hyperion Provider Servicesを実行している必要があります。

ブール値属性ディメンション

アウトライン・エディタのブール値属性ディメンションをコピーおよびペーストすることはできません。

データベース・プロパティ・ウィンドウ - 「変更」 タブ

Administration Servicesオンライン・ヘルプでは、トピック「データベース・プロパティ」ウィンドウ—「変更」タブの関連コマンドにgetdbstats ESSCMDがリストされています。正しい関連コマンドはgetdbinfoです。

SQLデータのファイル区切りは無視されます

英語版Oracle Essbase Administration Servicesオンライン・ヘルプのトピック、データ・ロードのルール・ファイルの作成には、SQLデータのファイル区切り文字は無視されるという注意があります。この注意は、11.1.2.4リリースの翻訳版ヘルプにありません。

ドキュメント・フィードバック

次の電子メール・アドレスに製品ドキュメントのフィードバックを送信してください:

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトのEPM情報開発をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>

- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

オラクル社では、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントをご利用いただけることを目標としています。製品のアクセシビリティ・ガイドに説明されている、EPM System製品サポート・アクセシビリティ機能。このガイドの最新版は、Oracle Technology NetworkのOracle Enterprise Performance Management Systemのドキュメント・ライブラリ(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)にあります。

また、このReadmeファイルはHTML形式でも表示できます。

著作権情報

Oracle® Essbase Administration Services Readme,

Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。